

著者紹介

g 新部 裕 (正会員)

特定非営利活動法人フリーソフトウェアインシアティブ (FSIJ) 理事。独立行政法人産業技術総合研究所情報処理研究部門。1991年電気通信大学大学院電気通信学専攻修士課程修了。1989年よりGNUプロジェクトにかかわる。"GNU"を表す漢字「g新」を提唱、ログイン名、ペンネームに用いて12年。1999年よりLinux SuperHメンテナー、FSF賛助会員、IEEE、日本リ눅ス協会各会員。

天野 英晴 (正会員)

現在、慶應義塾大学理工学部情報工学科教授、工学博士。並列アーキテクチャ、リコンフィギュラブルシステムを主に研究。

飯野 謙次

1959年生。1982年東京大学工学部産業機械工学科卒業。1984年同大学院工学系研究科産業機械専門課程修士卒業。General Electric原子力部門入社。1991年ANELVA Engineering Corporation入社。1992年Stanford大学機械工学・情報工学博士課程卒業。1993年Ricoh Corporation, Software Research Center入社。1998年INDEK Corporation入社。2000年SYDROSE LP設立、同社長に就任。2002年「失敗学のすすめ」英訳版、11月に出版。特定非営利活動法人失敗学会副理事長就任。
E-mail:kiino@sydrose.com

浦本 直彦 (正会員)

昭和40年生。昭和63年九州大学工学部電子工学科卒業。平成2年同大学院総合理工学研究科情報システム学専攻修了。同年日本アイ・ピー・エム(株)入社。東京基礎研究所にて、機械翻訳システム、情報検索システムなどの研究開発を経て、XML関連のインターネット技術の研究開発に従事。博士(工学)。平成12年より、国立情報学研究所実証研究センターフルテキストコンテンツ研究室客員助教授。人工知能学会会員。

大岩 元 (正会員)

1965年東京大学理学部物理学科卒業。1971年同大学院理学系研究科博士課程修了。理学博士。同大理学部助手、豊橋技術科学大学講師、同助教授。同教授を経て1992年慶應義塾大学環境情報学部教授。情報教育学、ソフトウェア工学、認知工学の研究に従事している。

大野 健彦 (正会員)

NTTコミュニケーション科学基礎研究所研究主任。視線インタフェース、視線測定法、視線に基づく認知モデルの構築、コミュニケーションの解明などの研究に従事。ACM、日本認知科学会各会員。

清光 英成 (正会員)

博士(工学)。1998年奈良先端科学技術大学院大学中退。同年神戸大学経済学部助手。2001年同大国際文化学部講師。2002年同助教授。現在に至る。データベースシステム研究、Web情報システム研究、Webデータの個別化・環境適応研究に従事。IEEE Computer Society、ACM各会員。

小谷 善行 (正会員)

1977年東京大学工・計数工学科・同博士課程修了。東京農工大学工・情報コミュニケーション工学科教授。工学博士。人工知能、自然言語、ゲーム、知識獲得等を研究。コンピュータ将棋協会設立にかかわり会長を経て、現副会長。

高倉 成男

1976年京都大学大学院(情報工学)修了。同年特許庁に入庁。情報通信分野の特許審査等に従事。その間、通産省、外務省、内閣府等に勤務。1998年京都大学法学部客員教授。2002年より現職。

高間 康史 (正会員)

1999年東京大学大学院工学系研究科電子情報工学専攻博士課程修了。博士(工学)。現在東京都立科学技術大学電子システム工学科助教授。Web Intelligenceや感性情報処理、知的インタフェースの研究に従事。

楯岡 孝道 (正会員)

1996年電気通信大学博士前期課程修了。1999年同大博士後期課程単位取得退学。2000年同大電気通信学部助手。博士(工学)。モバイルコンピューティングおよびコンピュータネットワークに興味を持つ。

田中 哲朗 (正会員)

1965年生。1987年東京大学工学部計数工学科卒業。1992年同大学院博士課程修了。博士(工学)。東京大学工学部助手、同大教育用計算機センター助教授を経て、1999年より同大情報基盤センター助教授。

寺野 隆雄 (正会員)

1978年東京大学情報工学専攻修士課程修了。1978～89年(財)電力中央研究所。1990年～現在筑波大学社会学系(大学院ビジネス科学研究科)。1996年同教授。1991年工学博士。計算組織理論、データマイニング、進化計算手法、知識システム開発に興味を持つ。人工知能学会、経営情報学会、日本オペレーションズリサーチ学会、電気学会ほか各会員。

棟上 昭男 (正会員)

1960年東京大学工学部卒業。1966年同大学院博士課程修了(工学博士)。同年電気試験所(その後電子技術総合研究所)入所。同所ソフトウェア部長、情報アーキテクチャ部長を経て、1991年よりIPA(情報処理振興事業協会)理事。1999年より東京工科大学メディア学部教授。1984年本会理事。現本会情報規格調査会会長。

土井美和子 (正会員)

1979年東京大学工学系修士課程修了。現在(株)東芝研究開発センター研究主幹。博士(工学)。入力デバイス、道案内などの研究開発に従事。総務省情報通信審議会委員、文部科学省科学技術・学術審議会専門委員、日本学術振興会総合研究連絡会議委員、慶應義塾大学非常勤講師などを務める。電子情報通信学会、HI学会、ACM各会員。

中尾 政之

1958年生。1983年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。日立金属(株)に入社。磁性材料研究所に勤務。1989年H.M.T. Technology Corp.(米国カリフォルニア州)に出向。磁気ディスク生産設備の立ち上げに従事。1992年東京大学工学部助教授。2001年同大学院工学系研究科教授。現在に至る。現在はナノ・マイクロ加工、加工の知能化、科学器械の微細化などの研究に従事すると同時に、実物を作り、それを動かす実体験を通して、技術の本質をつかむよう、学生を指導している。
E-mail:nakao@hnl.t.u-tokyo.ac.jp

畑村洋太郎

1941年東京生まれ。工学博士(1973年、東京大学)。1966年東京大学大学院修士課程修了。(株)日立製作所入社。1968年東京大学工学部助手。1983年同教授。2001年工学院大学国際基礎工学科教授、東京大学名誉教授、畑村創造工学研究所開設。現在に至る。現在は、失敗学を新たに構築することを目指し、技術者に失敗を生かして創造させる教育を実践している。著書「失敗学のすすめ」(講談社)、「実際の設計」シリーズ(日刊工業新聞社)、「機械創造学」(丸善)など。その他著書多数。
E-mail:hatamura@shippai.org

ひろのかずお

1963年大阪外国語大学仏語科卒業。大阪市立大学～慶應義塾大学に学ぶ。日本ユニバック(現日本ユニシス)、CSK、情報技術開発(株)を経たが、この間、人工知能、認知科学分野、インターネット分野で広範囲に活動。現在は、とりあえずのフリー。

益田 隆司 (正会員)

昭和38年東京大学工学部卒業。昭和40年(株)日立製作所。昭和52年筑波大学講師、助教授、教授。昭和63年東京大学理学部情報科学科教授。平成7～9年同大理学部長、大学院理学系研究科長。平成12年電気通信大学教授。平成13～14年同大副学長。平成14年より同電気通信学部長。本会論文誌編集委員、研究会主査、理事、監事を歴任。

村田 剛志 (正会員)

1992年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻修士課程修了。群馬大学工学部情報工学科講師などを経て、2001年より国立情報学研究所情報学基礎研究系助教授。Webマイニング、発見システム、図による推論の研究に従事。

村田 真 (正会員)

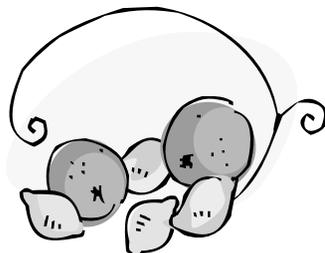
1982年京大工学部卒業。日本IBM(株)東京基礎研究所特別研究員・国際大学研究所併任研究員。XML 1.0を生んだXML WGのメンバ。編著書に「XML入門」(日本経済新聞社)。インターネットコンファレンス'98論文賞受賞。

山田 誠二 (正会員)

1989年大阪大学大学院博士課程修了。工学博士。大阪大学助手、講師を経て、1996年東京工業大学助教授。2002年国立情報学研究所教授。現在に至る。人工知能、知的Web、HAIに興味を持つ。

湯浅 敬 (正会員)

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。現在Hewlett-Packard Laboratoriesにてマルチメディア会議システムの研究に従事。



昨年末から事務局に勤務し、このたび事務局長を拝命いたしました新人の湖東です。これまで勤めていた「生き馬の目を抜く」ような業界とは大きく違い（といっても「情報処理で社会に貢献する」という企業理念は同じだったはずですが）、出版・サービスが中心の学会の仕事は、時間の流れがゆったりとしていて、悠久の中に生きているような印象です。あの毎日が追われるような状況から、やっとまともな人間となったという感じであり、出会うことの1つ1つが目新しく勉強です。

35年前にソフトウェア開発の道に入ってからずっと、情報処理とは一部若手技術者が高級マシンを使いながら身体を張る徹夜作業のことだと思っていました。今事務所を見渡せば、誰もが1台ずつPCを所有し、EXCELとWORDで情報処理するのが当たり前の世の中です。思えばメインフレーム華やかなりし頃に出会ったLisaCalcは鮮烈な印象でした。画面に数字を入れると計算結果がたちどころに変わるのです。カルチャーショックで身体が震えました。先人の一步一步がこうして日常を変化させていく事例を垣間見ることができ（「夜明け前」を体験したというほどではありませんが）、生きていることを神に感謝しています。

私はこれまで行く先々の神社仏閣で、お賽銭を投げて家族の健康と豚兎の切磋琢磨を祈るのが常でありました。ミャンマーの古都パガンではパゴダ（仏塔）が3,000くらいあり、お布施の小銭が何度も底を突きました。しかし、いくら祈ってもご利益はなく、豚兎はいつまでも豚兎のままであり、健康をお願いしたはずの私は5年間に3度も骨折で入院するはめになりました。ある日、建長寺でお祈りしていると啓示がありました。「祈るだけで思いが天に通じるなら、皆大金持ちになり誰も働かなくなる。祈るのではなく、生きていることを感謝するのが大切だ。『生命（せいめい）という字は命（いのち）を生きる』と書くではないか」。こう考えると、ずっと続いていた頭痛も嘘のようになくなりました。知り合いの僧侶に、「それが悟りです」と言われました。

事務局のお客様は学会誌を購読してくださる会員の皆様と研究会で活躍される方々です。皆様を通して「情報処理で社会に貢献する」という学会の理念が達成されることとなります。事務局の仕事とは、皆様の学会活動をいかにやりやすくするかということに尽きます。先日ジャーナル編集委員の方々から、「事務局のお陰で気持ちよく委員会の作業ができて感謝しています」と言ってくれました。事務局員1人1人がVoice of Customerを忘れずに、皆様の活動をお手伝いできることに感謝しながら働かせていただきます。今後ともご教導のほどよろしくお願い申し上げます。

と、ここまで書いたところで東京農工大学の小谷先生から、第13回世界コンピュータ将棋選手権で行われた日本将棋連盟勝又五段と優勝したIS将棋との二枚落エキジビジョンマッチの原稿が送られてきました（本号掲載）。私の棋力はペーパー三段、実力初段というところですが、最近のコンピュータ将棋（アマチュア五段といわれています）にはまったく歯が立ちません。いつも負けるので悔しくてこのごろは遊んであげないことにしています。今を去ること20年ほど前にbit誌にコンピュータ将棋の棋譜が掲載されていました。あまりにすごい手順に仰天し、コンピュータが私に勝つのは21世紀でも駄目だろうと思っていました。選手権会場でそんなことを思い出し、早稲田大学の瀧澤先生に「bitの棋譜は、あれでも将棋というのでしょうか」と感想を漏らしたところ、先生は「あれは私と小谷先生のプログラムの対戦結果でした」と仰られました。勝又プロとの対戦で感心したのは、コンピュータが守りの金を前線に送り出し、上手の攻駒の金と交換し、相手の唯一の攻め筋を絶ったこと、さらにその金を相手陣深く打ち込み、桂と香を鹵獲したことです。どちらも人間にはとても指し難い手ですが、コンピュータは平然と指していました。こうしてみると人間同士の対戦の場合は、上手の手付・場の雰囲気・段位などのヒューマンファクタが大きな影響を及ぼし、上手に有利な状況を作り出しているのではないかと思います。ゲーム情報学がさらに進化し、プロと平手の対戦をする日の近いことを期待して止みません。

（湖東俊彦／事務局長）



◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集、参加案内等）の本誌掲載については、下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税別）
論文募集／ 参加者募集	国際会議、シンポジウム、ワークショップ 講演会、講習会などの論文募集・参加者募集 に限る。	1 ページ、	(主催・共催)
		1/2 ページまたは	1 ページ 50,000 円
		1/4 ページ	1/2 ページ 30,000 円
			1/4 ページ 20,000 円
			(協賛) 広告として取り扱う
人材募集	国公立教育機関、国公立研究機関、 企業の人材募集	10 行程度	(国公立教育機関、国公立研究機関) 20,000 円
			(賛助会員（企業）) 30,000 円
			(賛助会員以外の企業) 50,000 円

■申込方法

任意の用紙に、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先などを記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

●行事次第書：

A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
 (1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
 (1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
 (1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
 * A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

●人材募集：

次の項目を明記し、E-mail または Fax、郵送にてお送りください。
 [募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]
 * なお、都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

■申込期限

毎月 15 日を締切日とし、翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので、3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先

(社) 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)
 〒 108-0023 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 5484-3535 Fax (03) 5484-3534

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、4月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「ソフトウェア管理技術の最新動向を探る」に対し、以下のご意見をお寄せいただきました。

■今回の特集は非常に興味のある分野であり、興味深く読みました。ソフトウェアプロセスの改善とソフトウェア開発プロジェクトをきちんと成功に持っていくことの特集記事などは定期的に連載してくれるとうれしい。(田中史朗)

■ソフトウェア開発管理は大変身近な問題であり大変興味深く読むことができた。SW-CMM(あるいはCMMI)によりソフトウェアプロセスの改善指針が明示されているが、実践的にそれが活用でき、ソフトウェアの生産性や、収益向上にまで結びついている事例はいまだに聞くことは少ない。プロセス改善の重要性を開発に携わる個人が認識し、そして改善活動による品質の高いソフトウェア開発を体感できるようになるには、まだ時間がかかるかもしれないと感じる今日のごころである。(滝沢真幸)

■ソフトウェア開発プロジェクトの失敗要因と成功要因が挙げられましたが、確かに要因の中でも人間的な側面は大きいと思います。今回のような経験をもとにして、人間的な側面についてもより深く研究が進むことを期待しています。(匿名希望)

■今回の特集はそのような分野に携わったことのない私にとっては、まったくの未知かつあまり知ることでないものであり、とても有意義でした。特に「ソフトウェア中心の大規模システム開発プロジェクト事例にみる成功要因と考察」については、仕事に就いたことのない学生として、興味を持って読むことができました。一方で「オープンソースソフトウェア「じゅん」の開発管理」については個々の事例として理解できますが、BSDをはじめ著名なオープンソースなソフトウェア(もちろん、それがすべてではありませんが、しかし想起しやすい)の開発方法とは違うのではないかと違和感を抱きました。(匿名希望)

また、解説「ソフトウェア産業にもデフレがやってくる」に対して、特に多くのご意見をいただきました。一部のみご紹介いたします。

■「ソフトウェア産業にもデフレがやってくる」が一番面白かった。日本で派遣が「はびこる」(私見でもこの言葉が最も的確である)理由について忌憚のない意見が書かれていた。自分の所属する会社でも派遣業を営んでいるので私は松原氏が書かれている「現場」を見ていることになるが、すべて当たっているとってよい。特に派遣社員の向上心のなさ(スキルアップのインセンティブのなさ)について常々

疑問に思っていたが、この記事を読んでそれらの疑問が氷解した。この記事を書くにあたっては、本家の情報処理学会の会誌にネガティブな記事を書くことになるのだからいぶん勇気が必要だったと思うが、21世紀初頭の日本のソフトウェア業界の現状を、最も正確に描写している記事の1つとして、長く記憶にとどめておきたいと思う。本当に素晴らしい記事だった。(伊藤文彦)

■あるシステムハウスの生産性向上のお手伝いをしていますが、日本のソフトウェア技術者は体系的な教育を受けていない。また、学習すべき領域が広く何をどのように学習していったらいいのかが分かっていないのではないかと思います。この点に関し、本質は松原氏の指摘にあると思います。1日も早く国と教育界が実務経験者を交えて、解決策を見出すべき時期と考えます。そうでないと中国やインドに仕事を奪われていってしまうそうです。(中島豊四郎)

■私も製造業と見ることができると、すべてにデフレはやってくると思っているので、同じ考えなんだなと思いました。ただ、その観点として、現状製造技術が日本で遅れているという指摘にとどまっていたように感じたのは若干残念に思います。もっと、こうしたいということを明確に具体的に提示していればと感じました。(小野 勉)

■この記事には、大変感動しました。日頃なんとなく感じていた派遣の危うさ、スパイラルな産業の衰退が納得できました。また、インドや中国での低コスト開発が、開発プロセスの高度化によるものとの指摘は衝撃でした。心しないと、会社は生き残れないと感じています。(星見定広)

■私は修士課程2年で、現在就職活動を行っているのですが、そこで実感するのが、文系積極採用を謳っているソフトウェア系企業が大変多いことです。松原氏がおっしゃるように、システムエンジニアリングやソフトウェアエンジニアリングを学んだことがなく、また入社後にもそのような教育を受ける機会がない人々がソフトウェアの開発に携わっていくということは、非常に憂慮すべき事態だと思います。(長谷川栄人)

■インド等のエンジニアの進出が、国内ベンダの脅威になっているのは、事実である。しかも、松原氏の指摘のように、賃金の安さによるメリットだけでなく、技術レベルの面でも優れているとなれば、事態は深刻である。この脅威を解消する方策は、やはり大学の情報教育のあり方の見直しではないだろうか。具体的な教育論をここで述べることはできないが、いつも気になっていることがある。一般に、ある分野の仕事を行うに際して、大学で同じ分野の学習・研究に従事した技術者の方が、やはり他の分野出身者より、即戦力や期待度の面で抜き出ているのが普通である。しかしながら、情報処理(ソフトウェア)技術者に関しては、必ずしもそうでないケースが、多々あるように感じるのである。(宮永昭治)

■松原友夫氏の解説「ソフトウェア産業にもデフレがやってくる」に特に注目させられる。米国のみならず、インド、中国、韓国、アイルランドなどとのグローバルな内外市場競争において、現在の本邦のソフトウェア産業体制が衰退の危機に瀕していることが、具体的に指摘されている。「派遣契約への依存」「業界のopenness不足」「輸出競争力ほぼゼロ」などの基本的な弱点を抱えていること、要員の教育養成や雇用配置に関するparadigm shiftが遅れているのが基本原因であることなどなど…いちいちもっともと思われる。これについての、国内外の関係者(いわゆるソリューションビジネス絡みのSE専門家、経営者、法経学者などの論客)による掘り下げた賛否議論のfollowing-up記事の特集掲載を至急提案したい。(島崎誠彦)

連載とコラムに対しては、以下のご意見をいただきました。

■「XML 誕生秘話」は興味ある話題として読ませていただいた。学生に「ものづくり」の大切さを語る時、製品にはどのような経緯があり、どのような課題や壁があり、それをどのように越えていったのか、これらをビビッドに伝えることが大切だと思っている。ソフトウェアも含めて、「作れば売れる」のではなく、「売れる」、「広まる」のには理由があることを教えていきたい。この記事はそのために有用であり、続く記事に期待している。(玉野和保)

■「日本の情報処理技術の足跡」は大変興味深く読ませていただきました。ただ、産業スパイ事件の逮捕者の名前を列挙しているのが、若干抵抗がありました。まだ現役でご活躍されている方もいらっしゃると思いますので。(匿名希望)

■「とっきょ Now!」は楽しみにしている連載の1つで最先端の情報を正確に教えてくれるが、くだけたタイトル(私は大変気に入っている)の割に「腰が引けているなあ」と思う記述が多くなってきたような気がする。特許に関してさまざまな私見を明確に持っている方だと思っているので、それをもっと大胆に書いて欲しい。(伊藤文彦)

■「ユークリッドの書斎」は、とても難しい問題を面白く解説してありました。こういう問題を考えて、実際プログラムを書くときの参考にすると、アルゴリズムの力がつくと思います。(小金沢雄一)

■「GUIはω不完全？」の内容に関して大変共感しました。私も仕事でPCの操作指導を行うことがあります。クリック・ダブルクリック・右クリックの使い分けを理解しただけのが大変です。また、「ウィンドウを閉じる×印ボタン」と、「アイコンを削除する×印ボタン」。使う側は同じ「×印ボタン」として理解するため、何度か問合せの電話をいただいたこともありました。操作上疑問を感じさせない Man-Machine Interface が開発されることを願います。(黒井 剛)

■「RFID タグによる物流管理の動きとその課題」に興味深く拝見しました。特に、プライバシーの観点からのRFIDタグの施錠・開錠などの技術に関しては、今後解説論文として記事になることを期待します。(匿名希望)

■「研究会たより：ロボットの国」は身近な話題と忌憚のない意見が綴られていて興味深く楽しいものでした。ちょうど芭蕉の徒然草を読んでいるようで、懐かしい気持ちになりました。(山口 周)

さらに、今後取り上げてほしいテーマや会誌の内容に関して、以下のご意見をお寄せいただきました。今後の参考にさせていただきます。

■産学官連携事業とその研究の光と影(理想と実態)について取り上げて欲しい。(匿名希望)

■電子政府用推奨暗号リストなるものがこの4月に発表されたようなので、取り上げていただきたいです。また、暗号技術の標準化についてもお願いします。(匿名希望)

■今後は「情報処理」としては分野外になるかもしれませんが、(トヨタ自動車のカンバン方式に代表されるような)ハードウェアプロダクトの生産管理といったものも、機会があれば読んでみたいと思います。(匿名希望)

■情報処理から「予測する」「予知する」技術研究の事例紹介など。特に、近年の医療、原子力、鉄道等業界における事故において、人為的ミスからくる事故を未然防止するIT支援にはどんな技術が求められ、技術的課題は何かなど、をITの面から情報提供を期待いたします。(北村和彦)

■ペイジアン・ネットワークなどの不確実性を扱うための計算モデルや、それらの応用などを特集して欲しい。(匿名希望)

■ビジネスモデルを記述するUML (匿名希望)

■全体として、日経の雑誌に載っていきそうな内容は避けるべき。一般雑誌との住み分けはもっと考えた方がよい。(青木輝勝)

■今月号はエッセイ集としての記事が多く参考になり面白かったです。(窪田衛二)

会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会ウェブページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

【本欄担当 井上恵介、櫻田英樹/書評・ニュース分野】



ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
 - ・記事テーマの提案
 - ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
 - ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言
- など、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/katsudou/mag/michishirube.html>>

でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝を進呈いたします。掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

応募先 〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
情報処理学会 会誌担当 E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax: (03)5484-3534
<http://www.ipsj.or.jp/enq/enq4407.html>



IPSJ カレンダー

行事名	開催日	会場
第 131 回データベースシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/DBS131.html	2003/7/16 (水) ~ 2003/7/18 (金)	ホテル網走湖荘
第 22 回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/CSEC22.html	2003/7/17 (木) ~ 2003/7/18 (金)	伝国の杜 (米沢)
第 47 回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/SLP47.html	2003/7/18 (金) ~ 2003/7/19 (土)	湯の川プリンスホテル渚亭 (函館)
DA シンポジウム 2003 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/DA2003.html	2003/7/22 (火) ~ 2003/7/24 (木)	遠鉄ホテルエンパイア
第 40 回デジタル・ドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/DD40.htm	2003/7/25 (金)	国立情報学研究所
第 59 回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/CH59.html	2003/7/25 (金)	電気通信大学
第 156 回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/NL156.htm	2003/7/25 (金)	山形大学 (米沢キャンパス)
JABEE 技術者教育プログラム審査員研修会 - 情報および情報関連分野 - http://www.ipsj.or.jp/katsudou/acre/T-Acc2003.html	2003/8/2 (土)	九州産業大学
第 45 回プログラミング研究発表会 - 2003 年並列/分散/協調処理に関する「松江」サマー・ワークショップ - http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/PRO45.html	2003/8/4 (月)	松江テルサ
第 94 回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会 - 2003 年並列/分散/協調処理に関する「松江」サマー・ワークショップ - http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/OS94.html	2003/8/4 (月)	松江テルサ
第 10 回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/GI10.html	2003/8/4 (月)	ソフトピアジャパン (大垣)
第 51 回音楽情報科学研究発表会「夏のシンポジウム」 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/MUS51.htm	2003/8/4 (月) ~ 2003/8/5 (火)	東京大学
第 95 回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 - 2003 年並列/分散/協調処理に関する「松江」サマー・ワークショップ - http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/HPC95.html	2003/8/4 (月) ~ 2003/8/6 (水)	松江テルサ
第 146 回計算機アーキテクチャ研究発表会 - 2003 年並列/分散/協調処理に関する「松江」サマー・ワークショップ - http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/ARC146.html	2003/8/5 (火) ~ 2003/8/6 (水)	松江テルサ
第 7 回システム評価研究発表会 - 2003 年並列/分散/協調処理に関する「松江」サマー・ワークショップ - http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/EVA7.html	2003/8/6 (水)	松江テルサ
連続セミナー 2003 (第 2 回) Web デザインとヒューマンインタフェース http://www.ipsj.or.jp/katsudou/seminar/seminar.html	2003/8/8 (金)	工学院大学
第 112 回グラフィクスと CAD 研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/CG112.html	2003/8/18 (月) ~ 2003/8/19 (火)	大観荘 (宮城県松島町)
オブジェクト指向 2003 シンポジウム http://www.ijijima.ae.keio.ac.jp/society/ipsj/sigse/conf/sympo2003.html	2003/8/20 (水) ~ 2003/8/22 (金)	早稲田大学
情報教育シンポジウム (SSS2003) http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/SSS2003.html	2003/8/22 (金) ~ 2003/8/24 (日)	スズキ荘観月園 (静岡)
FIT2003 第 2 回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/katsudou/fit/fit2003.html	2003/9/10 (水) ~ 2003/9/12 (金)	札幌学院大学
連続セミナー 2003 (第 3 回) コンテンツとサービス http://www.ipsj.or.jp/katsudou/seminar/seminar.html	2003/9/26 (金)	工学院大学
連続セミナー 2003 (第 4 回) ユビキタス空間ネットワーク http://www.ipsj.or.jp/katsudou/seminar/seminar.html	2003/10/7 (火)	工学院大学
第 10 回 MPS シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/S-MPS2003.html	2003/10/23 (木) ~ 2003/10/24 (金)	同志社大学京田辺校地
連続セミナー 2003 (第 5 回) セキュアネット http://www.ipsj.or.jp/katsudou/seminar/seminar.html	2003/11/26 (水)	工学院大学
連続セミナー 2003 (第 6 回) グリッドコンピューティング http://www.ipsj.or.jp/katsudou/seminar/seminar.html	2003/12/15 (月)	工学院大学
第 66 回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/taikai/66taikai.html	2004/3/9 (火) ~ 2004/3/11 (木)	慶應義塾大学 (湘南藤沢キャンパス)

行事名	論文応募締切日	会場
第40回デジタル・ドキュメント研究発表会（2003/9/26開催） 発表論文募集 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/DD41.html	2003/7/25（金）	情報処理学会
第30回分散システム／インターネット運用技術研究発表会 （2003/9/26開催）発表論文募集 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/DSM30.html	2003/7/25（金）	福井大学
コンピュータシステム・シンポジウム（2003/12/11-12開催） 発表論文募集 http://www.ipsj.or.jp/sig/os/cs2003/	2003/7/25（金）	つくば国際会議場
第96回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 （2003/10/16開催）発表論文募集 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/HPC96.html	2003/7/28（金）	日本原子力研究所
第46回プログラミング研究発表会（2003/10-14-15開催）発表論文募集 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/PRO46.html	2003/8/15（金）	岩手県立大学
四国支部 平成15年度電気関係学会四国支部連合大会発表論文募集 http://www.sjciee.ehime-u.ac.jp/	2003/8/15（金）	愛媛大学
第60回人文科学とコンピュータ研究発表会（2003/10/24開催） 発表論文募集 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/CH60.htm	2003/8/18（月）	大谷大学
コンピュータセキュリティシンポジウム2003（2003/10/29-31開催） 発表論文募集 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/S-CSS2003.html	2003/8/25（月）	北九州国際会議場
第140回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/CVM140.htm	2003/9/8（月）	北海道大学
論文誌「オブジェクト指向技術」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/toukou/tokushuu/se.html	2003/9/30（火）	
論文誌「システムLSIの設計技術と設計自動化」特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/toukou/tokushuu/sldm.html	2003/10/15（水）	
第10回高品質インターネット研究発表会（2004/1/28開催）発表論文募集 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/kaikoku/QAI10.html	2003/11/11（火）	東京ファッションタウンビル
論文誌「プライバシーを保護するコンピュータセキュリティ技術」 特集論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/toukou/tokushuu/csec.html	2003/11/28（金）	

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報 - What's New より -

- 2003年6月19日
 - ・平成14年度論文賞の表彰
- 2003年6月18日
 - ・論文誌（ジャーナル）の「論文査読状況」を更新いたしました。
- 2003年6月12日
 - ・明日6/13（金）AM10:00頃よりサーバメンテナンスを行いますので、Web会員サービス（論文へのアクセス等）が遅くなる場合があります。ご迷惑をお掛けいたしますが、どうぞご了承くださいませようお願いいたします。
- 2003年6月11日
 - ・論文誌編集・査読マニュアルに「遅延論文の督促ルール」を追加いたしました。
- 2003年6月10日
 - ・論文誌（ジャーナル）の「採録論文一覧」を更新いたしました。
- 2003年6月9日
 - ・本日、AM10:00よりサーバメンテナンスのため論文閲覧等へのアクセスが遅くなる場合があります。急で申し訳ございませんが、どうぞご了承くださいませようお願いいたします。
- 2003年6月6日
 - ・名誉会員の紹介
 - ・平成14年度功績賞の表彰
- 2003年5月28日
 - ・第65回全国大会公開講演・招待講演動画配信篠田正浩氏、りんたろう氏、モンキーパンチ氏他
- 2003年5月23日
 - ・電子図書館の論文誌（ジャーナル）Vol.44 No.5を登録いたしました。
 - ・第45回通常総会報告
 - ・平成15年度役員名簿
 - ・平成14年度業績賞の紹介
 - ・平成14年度坂井記念特別賞の紹介
 - ・第485回理事会報告

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 20,000円（+税）
賛助会員（企業） 30,000円（〆）
賛助会員以外の企業 50,000円（〆）

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03) 5484-3534
*人材募集広告は会誌と同時にオーム社発行月刊誌「コンピュータ&ネットワーク LAN」にも掲載されることになりました（料金の追加はありません）。ただしオーム社側の掲載については字数などの関係から大幅に編集されることをご了承ください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■国立情報学研究所

- 募集人員** (a) 教授 若干名 (b) 助教授 若干名
- 研究分野** (a) : (1) 情報学基礎研究系（脳神経科学、言語学、哲学などを背景とする認知科学関連研究を主体として、情報・知識に関する基礎的、総合的研究を推進）(2) ソフトウェア研究系（ソフトウェア工学、実時間ソフトウェア、システム・ソフトウェア、データベース・システムなどの研究を背景として、高品質ソフトウェアの効率的開発と実用化に関する研究を推進）
(b) : (1) 情報メディア研究系（マルチメディア、統合メディアにかかわる情報処理の研究を背景として、デジタル・アーカイブ、マルチメディアドキュメント、文化財情報、著作権情報、その他関連情報の処理、組織化、検索、統合管理、通信と放送の融合などのソフトウェアおよびシステムに関する研究を推進）(2) 実証研究センター（各種の情報関連システムの研究開発と応用の実績を背景として、本研究所における研究成果の実証実験、実用化、事業化を目的とする研究開発を推進し、また共同研究プロジェクトを企画、推進）
- 資質・経験など** (a) 研究成果、経験に十分な実績を有する方で、さらに内外の研究機関、企業などとの共同研究を主導した実績のある方が望ましい。当該分野のリーダーとして活動中の外国人の応募を特に歓迎する
(b) 上記研究分野に関して格別の研究実績を有する方で、所内、内外の研究機関、企業などとの研究者とともに、研究の企画、推進、国際展開などを主導できる方が望ましい。さらに、デジタル・アーカイブなどの共同研究プロジェクトに率先、協調して取り組む意欲のある方を歓迎する
- 応募資格** (a) (b) とともに博士の学位を有する、または取得見込みの方
- 着任時期** 平成15年度内のなるべく早い時期
- 応募締切** 日本人：平成15年7月31日（消印有効） 外国人：平成15年11月30日
- 送付先/照会先** 応募書類、応募書類の様式、応募書類の送付先および照会先については、国立情報学研究所 Web ページ <http://www.nii.ac.jp/index-j.html> を参照してください

■金沢大学工学部情報システム工学科

- 募集人員** 講師 1名
- 専門分野** 集積回路工学（設計技術、CAD・設計自動化技術、検証および計測・評価技術、応用システムなど）
- 担当科目** 電子回路および集積回路関係の科目など
- 応募資格** 博士の学位を有する35歳くらいまでの方（VLSI設計・試作経験のある方または試作研究に取り組む意欲のある方）
- 着任時期** 平成16年4月1日
- 提出書類** 履歴書、研究業績リスト、研究活動・教育活動・学会および社会活動について、教育研究に対する抱負、主要論文別刷、本人に関する所見を伺える方2名の氏名と連絡先
- 応募締切** 平成15年8月29日（必着）
- 送付先/照会先** 〒920-8667 石川県金沢市小立野 2-40-20 金沢大学工学部情報システム工学科 学科長 木村春彦
E-mail:kimura@ec.t.kanazawa-u.ac.jp Tel (076) 234-4836

■近畿大学工学部情報システム工学科

募集人員 助教授（大学院を担当可能な方）もしくは講師 1名
 専門分野 情報システム工学分野
 担当科目 情報技術関連科目、実習、演習
 応募資格 博士の学位を有し、専門分野の研究業績があり、教育研究に熱意があり、教育経験が2年以上の方で35歳以下が望ましい
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト（著書、学術論文、国際会議論文・シンポジウム、その他に分けて記載）、主要論文別刷（コピー可）、現在までの研究概要（A4用紙1枚程度）、着任後の研究計画および情報システム工学教育に対する抱負（各A4用紙1枚程度）、意見を伺える方2名の連絡先
 応募締切 平成15年8月30日（必着）
 送付先 〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1 近畿大学工学部 工学部長 杉山一男 「教員応募書類」と朱書き簡易書留
 照会先 情報システム工学科 学科長 黒瀬能幸（くろせ よしのぶ） E-mail:kurose@hiro.kindai.ac.jp
 Tel(0824)34-7000 (ext.873) Fax(0824)34-7011
 その他 書類審査で選考しますが、必要な場合には面接をさせていただくことがありますことをあらかじめご承知おきください

■鹿児島大学工学部情報工学科

募集人員 助教授 1名
 専門分野 (1) ソフトウェア工学（要求と設計、検証、品質保証など）(2) 情報数理（情報セキュリティ、暗号、符号理論など）(3) 情報システム（計画、設計、構築、運営と管理）(4) 計算機工学、のいずれかの分野
 担当科目 計算機工学、ソフトウェア工学、オートマトンと言語理論などの専門科目、および数学など共通教育科目
 応募資格 博士の学位を有し、大学院博士前期・後期課程を担当できる方
 着任時期 できるだけ早い時期
 提出書類 履歴書、研究業績リスト（審査付き学術論文誌発表8編以上）、主要論文コピー（10編以内）、教育および研究に関する抱負（2000字以内）、健康診断書、推薦書
 応募締切 平成15年8月31日
 送付先/照会先 〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学工学部情報工学科 学科長 高橋行俊
 E-mail:takahasi@ics.kagoshima-u.ac.jp Tel(099)285-8444 Fax(099)285-8464
 「情報工学科教官応募書類」と表記し書留または簡易書留

■近畿大学工学部電子情報工学科

募集人員 助教授もしくは講師 1名
 専門分野 計算機ソフトウェア、計算機アーキテクチャ、コンピュータネットワークのいずれかの研究分野が望ましい
 担当科目 ソフトウェア工学、オペレーティングシステム、データベース、プログラミングなど
 応募資格 博士の学位を有し、専門分野の研究業績、教育研究に熱意があり教育歴または研究所における研究歴のある45歳程度までの方
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト（著書、論文、シンポジウム、その他に分けて）、主要論文別刷（コピー可）、現在までの研究概要（A4用紙1枚程度）、着任後の研究計画および教育に対する抱負（A4用紙1,2枚程度）
 応募締切 平成15年8月31日（必着）
 送付先 〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1 近畿大学工学部工学部長 杉山一男 「教員応募書類」と朱書き簡易書留
 照会先 電子情報工学科長 八十島義行（やそじま よしゆき） E-mail:yasojima@hiro.kindai.ac.jp Tel(0824)34-7000 Fax(0824)34-7011
 その他 書類審査で選考しますが、必要な場合は面談させていただくことがありますことをあらかじめご承知おきください

■岐阜大学工学部応用情報学科

募集人員 助教授 1名
 専門分野 情報工学・情報科学分野（情報システム、知能システム、計算機支援システムなど）
 応募資格 博士の学位を有し、大学院博士後期課程の担当ができる方
 着任時期 平成15年12月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 履歴書、業績リスト（論文、著書、特許など）、主要論文別刷、健康診断書、照会可能な方2名の氏名と連絡先
 応募締切 平成15年8月31日
 送付先/照会先 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1 岐阜大学工学部応用情報学科長 速水 悟 E-mail:hayamizu@info.gifu-u.ac.jp
 Tel(058)293-2763

■熊本電波工業高等専門学校情報工学科

- 募集人員 教授または助教 1名, 助教または助手 1名 (計2名)
 専門分野 コンピュータネットワーク, 同ハードウェア (特にハードウェア記述言語を用いた論理回路設計), 計算理論, アルゴリズム, ソフトウェア工学に関する研究分野の教育指導を担当できる方
 応募資格 教授または助教: 採用時に満35歳から40歳後半までの方 助教または助手: 採用時に満35歳以下の方
 どちらも博士の学位を有し, 日本国籍を有する, 高等専門学校の教育・研究および学生指導に意欲のある方
 着任時期 平成16年4月1日 (予定)
 提出書類 「情報工学科教官 (教授または助教, 助教または助手) 応募書類請求」と朱書し, 返信用封筒 (80円切手貼付) を同封のうえ下記担当まで請求するか, 次のアドレスから必要書類をダウンロードしてください <http://jrecin.jst.go.jp/>
 応募締切 平成15年9月1日 (必着)
 照会先 〒861-1102 熊本県菊池郡西合志町須屋 2659-2 熊本電波工業高等専門学校 庶務課人事係長 吉井 E-mail:jjinji1@jimu.knct.ac.jp
 Tel:(096)242-6015 (直通)
 その他 一次選考: 書類審査 二次選考: 一次選考合格者に対して面接審査 (実施日時は後日, 一次選考の合格者へ直接お知らせします)

■筑波技術短期大学電子情報学科

- 募集人員 教授または助教 1名
 所属 電子工学専攻
 専門分野 電子・情報・通信関連分野
 担当科目 回路, LSI設計, 半導体デバイス, プログラミング言語など
 応募資格 聴覚障害者の教育に熱意のある方. 博士の学位を有するか, もしくはそれと同等の研究上の業績を有する方
 着任時期 平成16年4月1日
 応募締切 平成15年9月1日 (必着)
 照会先 電子情報学科 主任 後藤 豊 E-mail:goto@a.tsukuba-tech.ac.jp Tel/Fax:(029)858-9388
 その他 公募要綱は <http://www.tsukuba-tech.ac.jp/shomu/kobo/kobo.htm>

■長崎大学工学部情報システム工学科

- 募集人員 教授 1名
 専門分野 プログラミング, オペレーティングシステム, ソフトウェア工学, データベースと情報コンテンツに関する分野
 (情報処理学会論文誌投稿用キーワード2002年1月版による)
 応募資格 専門分野で優れた研究業績があり, 博士の学位を有し, 50歳前後の方が望ましい
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 履歴書 (応募職種明記), 業績リスト (学術論文, 著書・総説・解説, 特許, その他), 主要論文別刷 (10編以内, コピー可, 各1部), 現在までの研究概要 (2000字程度), 着任した場合の研究・教育に対する抱負 (2000字程度), 本人に関し参考意見を求め得る方 (3名以内) の氏名と連絡先
 応募締切 平成15年9月1日 (必着)
 送付先/照会先 〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14 長崎大学工学部情報システム工学科 学科長 小栗 清
 E-mail:oguri@cis.nagasaki-u.ac.jp Tel:(095)819-2570 (直通) (095)819-2574 (事務室) 「応募書類在中」と朱書き書留
 その他 場合によっては, 面接を求める場合があります

■名古屋大学大学院工学研究科

- 募集人員 教授 1名
 所属 計算理工学専攻基盤計算科学講座 (改組予定) (電子情報システム専攻数理情報システム併担講座)
 専門分野 コンピュータ通信分野 (ユビキタス技術, グリッドコンピューティング, ITS関連など) または次世代情報システム分野 (超集積システム, 超低消費電力システム, 量子情報システムなど)
 応募資格 博士の学位を有する方
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷 (5編), これまでの研究概要 (A4用紙2枚程度), 今後の研究計画および教育についての抱負 (A4用紙1枚程度), 本人について照会可能な方 (2名以内) の氏名・所属・連絡先, 審査に役立つと応募者が判断するその他の事項 (学会および社会活動, 教育経験など)
 応募締切 平成15年9月1日 (必着)
 送付先/照会先 〒464-8603 愛知県名古屋市中種区不老町 名古屋大学大学院工学研究科計算理工学専攻 主任 金田行雄
 E-mail:kaneda@cse.nagoya-u.ac.jp Tel:(052)789-3715 Fax:(052)789-4656
 「基盤計算科学講座教授応募書類在中」と朱書き書留
 照会先 電子情報学専攻 主任 谷本正幸 E-mail:tanimoto@nuee.nagoya-u.ac.jp Tel:(052)789-3627 Fax:(052)789-3162
 その他 詳細は <http://www.nuee.nagoya-u.ac.jp/> 参照

■名古屋大学大学院工学研究科

募集人員 教授 1名
 所 属 電子情報システム専攻（改組予定）コンピュータ工学講座
 専門分野 オペレーティングシステム分野（モバイルコンピューティング、セキュアコンピューティング、分散OSなど）
 応募資格 博士の学位を有する方
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷（5編）、これまでの研究概要（A4用紙2枚程度）、今後の研究計画および教育についての抱負（A4用紙1枚程度）、本人について照会可能な方（2名以内）の氏名・所属・連絡先、審査に役立つと応募者が判断するその他の事項（学会および社会活動、教育経験など）
 応募締切 平成15年9月1日（必着）
 送付先／照会先 〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院工学研究科電子情報学専攻 主任 谷本正幸
 E-mail:tanimoto@nuee.nagoya-u.ac.jp Tel(052)789-3627 Fax(052)789-3162
 「コンピュータ工学講座教授応募書類在中」と朱書き書留
 そ の 他 詳細は <http://www.nuee.nagoya-u.ac.jp/> 参照

■名古屋大学大学院工学研究科

募集人員 教授 1名
 所 属 電子情報システム専攻（改組予定）電子情報通信講座
 専門分野 情報通信ネットワーク分野（フォトリックネットワーク、ネットワークアーキテクチャ、次世代ネットワークなど）
 応募資格 博士の学位を有する方
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷（5編）、これまでの研究概要（A4用紙2枚程度）、今後の研究計画および教育についての抱負（A4用紙1枚程度）、本人について照会可能な方（2名以内）の氏名・所属・連絡先、審査に役立つと応募者が判断するその他の事項（学会および社会活動、教育経験など）
 応募締切 平成15年9月1日（必着）
 送付先／照会先 〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院工学研究科電子情報学専攻 主任 谷本正幸
 E-mail:tanimoto@nuee.nagoya-u.ac.jp Tel(052)789-3627 Fax(052)789-3162
 「電子情報通信講座教授応募書類在中」と朱書き書留
 そ の 他 詳細は <http://www.nuee.nagoya-u.ac.jp/> 参照

■岡山理科大学工学部情報工学科

募集人員 (a) 教授、助教授または講師 2名 (b) 助手 1名
 専門分野 ソフトウェアシステム、コンピュータシステム（プログラミング論、言語処理系、ソフトウェアの設計・開発、アーキテクチャ、システムプログラムなど）
 応募資格 (a) 博士の学位または同程度の能力を有する方で、教育研究機関などで教育・研究の経験がある方、または企業などでシステム開発・情報関連部門の実務経験がある方。50歳以下の方が望ましい
 (b) 30歳以下で博士の学位を有するか取得見込みの方
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 履歴書（学歴、職歴、学会および社会における活動など）、研究業績リスト、主要論文別刷（コピー可）、これまでの研究の概要、実務経験のある方はその内容、教育・研究に対する抱負と今後の研究計画
 応募締切 平成15年9月5日
 送付先／照会先 〒700-0005 岡山県岡山市理大町1-1 岡山理科大学工学部情報工学科 学科長 南原英生
 E-mail:hideo@ice.ous.ac.jp Tel/Fax(086)256-9584

■東京電機大学工学部情報通信工学科

募集人員 教授または助教授 1～2名
 専門分野 コンピュータネットワーク関連分野もしくはマルチメディア通信関連分野
 応募資格 博士の学位を有し、大学院の指導ができる30～50歳程度の方
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 履歴書、教育研究業績リスト、主要論文別刷（コピー可）、教育・研究についての抱負（A4用紙2枚程度）、推薦書1通以上、連絡先（郵便送付先、電話番号、E-mail）
 応募締切 平成15年9月16日（必着）
 送付先／照会先 〒101-8457 東京都千代田区神田錦町2-2 東京電機大学工学部情報通信工学科長 脇 英世
 E-mail:pcom@c.dendai.ac.jp Tel(03)5280-3320 Fax(03)5280-3389 「応募書類在中」と朱書き簡易書留
 そ の 他 上記公募内容の詳細および変更については、下記 Web ページをご覧ください <http://www.c.dendai.ac.jp/pcom/>

■阪南大学経営情報学部

募集人員 教授, 助教授, または専任講師 1名
 担当科目 マルチメディア情報 (大学院「マルチメディア特論」も担当可能な方)
 応募資格 マルチメディアの専門分野において, 研究業務業績を有する方. CG や Web 関連, もしくは E-Learning 関連の研究・教育業績がある方が望ましい. 年齢は平成 16 年 4 月 1 日現在で 45 歳以下であることが望ましい
 着任時期 平成 16 年 4 月 1 日
 応募締切 平成 15 年 9 月 19 日 (必着)
 照会先 〒 580-8502 大阪府松原市天美東 5-4-33 阪南大学経営情報学部 人事委員会 鶴谷昌也 E-mail:keijo-koubo@hannan-u.ac.jp
 その他 詳細は阪南大学 Web ページを参照 <http://www.hannan-u.ac.jp>

■岩手県立大学ソフトウェア情報学部

募集人員 教授 1名
 所属 ソフトウェア情報学部およびソフトウェア情報学研究所
 専門分野 OS または分散処理の教育研究
 担当講座 オペレーティングシステム学講座または分散処理学講座
 担当科目 (学部) オペレーティングシステム論の担当と基盤システム設計論, 科学と倫理, 開発と環境から数科目および基盤システムに関する演習などを担当できることが望ましい
 (大学院) 情報システム評価特論, 情報システム基礎総論, 基盤構築特論から数科目担当できることが望ましい
 応募資格 博士の学位を有し, OS あるいは分散処理の領域に精通し, これらの分野で十分実績のある方
 着任時期 平成 16 年 4 月 1 日
 応募締切 平成 15 年 9 月 30 日 (必着)
 照会先 岩手県立大学ソフトウェア情報学部 教授 石亀昌明 E-mail:ishigame@soft.iwate-pu.ac.jp Tel(019)694-2554 (ダイヤルイン)
 その他 詳細は学部 Web ページ http://www.soft.iwate-pu.ac.jp/information_j.html を参照のこと

■長岡技術科学大学工学部電気系

募集人員 助教授 1名
 専門分野 情報関連分野, 特に“ME とサイバネティクス” や “パターン認識”, “医用画像工学” 関連の分野の方が望ましい
 応募資格 博士の学位を有する, もしくは着任までに取得見込みの方. 業績があり, 大学院博士後期課程担当可能な方. 年齢は 35 歳前後が望ましい
 着任時期 平成 16 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書 (学歴, 職歴, 教育歴, 所属学会名, 学会活動, 社会活動など), 研究業績リスト (博士論文, 学会誌論文, 国際会議論文, 解説論文, 著書, 特許などに分けて記載), 主要論文別刷 (10 編程度, コピー可), これまでの研究の概要および今後の研究, 教育に関する抱負 (1000 字程度), 応募者について所見をいただける方 2 名の連絡先 (電話番号など)
 応募締切 平成 15 年 9 月 30 日 (必着)
 送付先/照会先 〒 940-2188 新潟県長岡市上富岡町 1603-1 長岡技術科学大学工学部電気系 系長 赤羽正志
 E-mail:akahane@vos.nagaokaut.ac.jp Tel(0258)47-9508

■松江工業高等専門学校

募集人員 助教授, 講師または助手 1名
 専門分野 電気工学 (ロボット工学, 制御工学などの分野を担当できる方)
 応募資格 年齢 45 歳くらいまでの方. 博士の学位を有し (助手は取得見込み), 教育, 研究, 学生指導に情熱があり, 健康で明朗な方
 着任時期 平成 16 年 4 月 1 日 (予定)
 提出書類 履歴書 (市販のもの), 研究業績リスト (口頭発表を含む), 主要論文別刷 (コピー可), これまでの研究概要*, 推薦書 (別封, 親展), 「高等専門学校における教育・研究」に対する抱負について記したもの* * A4 用紙 1 枚 1000 字程度
 応募締切 平成 15 年 9 月 30 日 (必着)
 送付先 〒 690-8518 島根県松江市西生馬町 14-4 松江工業高等専門学校 庶務課人事係 Tel(0852)36-5112
 郵送の場合は「電気工学科教官応募書類在中」と朱書き書留
 照会先 電気工学科学科長 教授 恒次秀起 E-mail:tsunetsugu@ee.matsue-ct.ac.jp Tel(0852)36-5203 Fax(0852)36-5218
 その他 選考方法: 書類選考ならびに面接により, 審査を行います

■近畿大学工学部システムデザイン工学科

募集人員 助教授または講師 2名
 専門分野 (1) コンピュータシステム (ハードウェア, OS, ネットワーク, プログラミング, マルチメディアなど)
 (2) デザインエンジニアリング (CAD/CAM/CG, 航空宇宙システム学, 自動車工学)
 担当科目 (1) コンピュータシステム関連科目の講義と演習 (2) デザインエンジニアリング関連科目の講義と実習
 応募資格 博士の学位を有し, 教育に意欲のある方. 年齢は45歳以下が望ましい
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト (著書, 学術論文, 国際会議論文など種類別に記載), 主要論文別刷 (コピー可), 教育・研究に関する抱負 (A4用紙1枚程度), 推薦書または推薦者連絡先
 応募締切 平成15年9月10日 (必着)
 送付先 〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1 近畿大学工学部 工学部長 杉山一男 「教員応募書類」と朱書き簡易書留
 照会先 システムデザイン工学科 学科長 教授 奥本泰久 (おくもと やすひさ) E-mail:okumoto@hiro.kindai.ac.jp
 Tel(0824)34-7000 (ext.790), または 0824-39-1110 (790) (DI) Fax(0824)34-7011
 その他 書類審査および面談を行います. 学科 Web ページ <http://sysdw.hiro.kindai.ac.jp/>

■工学院大学情報工学科

募集人員 助教授または講師 1名
 専門分野 ソフトウェア
 担当科目 ソフトウェア設計法, アルゴリズム論など
 応募資格 年齢30~40歳前後. 博士の学位を有するか, あるいは平成16年3月までに取得見込みの方. 活発に研究を行い, かつ学生の教育に熱心にかかわっていただける方
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト (論文・著書など) とこれまでの研究の概要, 主要論文別刷, 推薦書1通
 応募締切 平成15年9月30日
 送付先/照会先 〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2 工学院大学工学部情報工学科 主任教授 椎塚久雄
 E-mail:shizuka@cc.kogakuin.ac.jp Tel(03)3340-2971 Fax(03)3348-3486
 その他 選考方法: 書類審査を通過された方には面接 (プレゼンテーションも含む) を実施させていただきます

■鳥取大学工学部知能情報工学科

募集人員 助教授または講師 1名
 専門分野 情報工学 (知能情報処理, 画像情報処理など)
 担当科目 画像情報処理, パターン認識, プログラミング言語, 情報リテラシーおよびその基礎となる科目
 応募資格 博士の学位を有し, 上記の専門分野に関し十分な研究業績と教育に対する熱意があり, 大学院博士後期課程を担当できること, 年齢は40歳くらいまでが望ましい
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 履歴書, 教育歴を期したもの, 研究業績リスト, 主要査読付学術雑誌論文別刷 (5編, コピー可), 着任後の抱負, 推薦書など
 *各様式は工学部 Web ページ (<http://akebia.jim.tottori-u.ac.jp/>) 参照
 応募締切 平成15年10月15日 (必着)
 送付先/照会先 〒680-8552 鳥取県鳥取市湖山町南4-101 鳥取大学工学部知能情報工学科 学科長 増山 博
 E-mail:masuyama@ike.tottori-u.ac.jp Tel(0857)31-5220 Fax(0857)31-0879
 「助教授・講師応募書類在中」と朱書き簡易書留または宅配便
 その他 公募の詳細については必ず鳥取大学 Web ページを参照のこと <http://www.tottori-u.ac.jp/main/full.htm>

■関東学院大学工学部電気・電子工学科 (平成16年度電気電子情報工学科に名称変更予定)

募集人員 教授または助教授 1名
 専門分野 情報通信工学分野
 担当科目 電子計算機, 情報処理演習, 回路理論, 実験, 卒業研究など
 応募資格 博士の学位を有する方, または取得見込みの方. 年齢は50歳までの方が望ましい
 着任時期 平成16年4月1日
 提出書類 提出書類については, 以下の照会先まで
 応募締切 平成15年10月31日
 照会先 電気・電子工学科長 平松友康 E-mail:hiramatu@kanto-gakuin.ac.jp Tel(045)781-2001 Fax(045)786-7098

■ 関東学院大学工学部電気・電子工学科（平成 16 年度電気電子情報工学科に名称変更予定）

募集人員 助教授または専任講師 1 名
 専門分野 情報通信工学分野
 担当科目 回路理論, 電子回路, 情報機器, 実験, 卒業研究など
 応募資格 博士の学位を有する方, または取得見込みの方. 年齢は 40 歳までの方が望ましい
 着任時期 平成 16 年 4 月 1 日
 提出書類 提出書類については, 以下の照会先まで
 応募締切 平成 15 年 10 月 31 日
 照会先 電気・電子工学科長 平松友康 E-mail:hiramatu@kanto-gakuin.ac.jp Tel(045)781-2001 Fax(045)786-7098

情報処理学会 英文図書シリーズ

書籍

Advanced Information Processing Technology

本シリーズのご注文は... <http://www.ipsj.or.jp/library/shoseki/eibun.html>

- Vol. 1 Domain Oriented Systems Development 完売**
- Vol. 2 Designing Communication and Collaboration Support Systems**
- Vol. 3 Information Networking in Asia**
- Vol. 4 Advanced LISP Technology**
- Vol. 5 Nontraditional Database Systems**
- Vol. 6 Domain Oriented Systems Development: Perspectives and Practices**

◆ 各種問合せ先 (社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
 〒 108-0023 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
 Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	項目
総務	somu@ipsj.or.jp	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
会員	mem@ipsj.or.jp	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証
経理	keiri@ipsj.or.jp	出納
システム企画	sys@ipsj.or.jp	システム企画, 電子化委員会
調査研究	sig@ipsj.or.jp	研究会登録, 研究発表会, シンポジウム
事業	jigyo@ipsj.or.jp	全国大会, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム
国際	intl@ipsj.or.jp	国際会議, IFIP 委員会
図書	tosho@ipsj.or.jp	出版物購入
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版
論文誌	editl@ipsj.or.jp	情報処理学会論文誌
規格部 (情報規格調査会)	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel(03)3431-2808 Fax(03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

以下のように開催することとなりました。清々しく静かな会場に関係者が一堂に会し、最新の研究成果の発表・意見交換を行うと共に、懇親の度を深める年に一度の良き機会です。着想段階の発表も歓迎しますので、奮って御応募くださるようお願い申し上げます。

【日時】 2003年11月12日(水)午後～14日(金)

【会場】 浜名湖ロイヤルホテル(静岡県浜名郡雄踏町山崎4396-1) TEL.053-592-2222

【交通】 JR東海道線舞阪駅から車で7分または新幹線浜松駅から車で30分

【講演内容】 画像符号化, 映像メディア処理に関する口頭発表・ポスター発表, 特別講演, パネル討論等

【参加登録費】 主催・共催学会員 24,000円 非会員 29,000円 学生 9,000円

【申込締切】 講演を申し込まれる場合 7月31日(木)

聴講参加される場合 10月10日(金)

【問合せ先】 NTTサイバースペース研究所 高村誠之

E-mail: pcsj-imps2003@lab.ntt.co.jp TEL.046-859-2371 FAX.046-855-1735

なお, 詳細な開催案内, 申込方法などに関する情報を以下のWWWサイトで提供しております。

PCSJ, IMPS ホームページ <http://www.hal.t.u-tokyo.ac.jp/pcsj/>

【主催】 電子情報通信学会画像工学研究専門委員会

【共催】 映像情報メディア学会メディア工学研究委員会・画像電子学会・
情報処理学会オーディオビジュアル複合情報処理研究会

ご意見をお寄せください！

【8月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからでも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/enq/enq4407.html Fax(03)5484-3534 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mailで送信される場合は、10-1-aのようにコードでお答えください)

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別: (a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」に掲載される場合があります。その場合:
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 9-
10. 今月号 (2003年7月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a...大変参考になった b...よい c...普通, どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]
- 特集: Web ダイナミクス
Web 適応 10-1-
Web 上の情報推薦システム 10-2-
Web コミュニティ 10-3-
Web における情報統合 10-4-
Web 更新モニタリング 10-5-
Web 情報ストリーム 10-6-
視線を用いたインタフェース 10-7-
失敗知識データベース構築の試み 10-8-
6合目までできたコンピュータ将棋の実力 10-9-
XML 誕生秘話: 形式言語理論とXML 10-10-
とっきょ Now! : 国際特許戦略 10-11-
ITルネサンスのために: ヒューマンインタフェースの復権を: 感動をあなたに 10-12-
プログラム・ブロムナード: ハフマン符号を解く 10-13-
情報技術と教育: 日本人情報技術者のレベルは世界最低? 10-14-
20世紀の名著名論: J. L. Hennessy and D. A. Patterson: Computer Architecture: A Quantitative Approach 10-15-
20世紀の名著名論: Richard M. Stallman: The GNU Manifesto 10-16-
日本の情報処理技術の足跡: 情報処理学会における情報技術標準化活動の足跡と展開 10-17-
モバイルは今: 環境を持ち歩くか, 遠隔地の環境を使うか 10-18-
日本のIT事情: 温故知新 10-19-
アメリカITまわりの話題: 税金のソフト 10-20-
11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
12. 著者への質問・今後取り上げて欲しいテーマ・また「道しるべ」に取り上げてほしいテーマなどありましたらお書きください。

本号の特集の「Web ダイナミクス」というタイトルは、昨年の国際 WWW 会議でのワークショップ名を使わせていただいた。そのワークショップでもハイパーリンクのグラフ構造や XML 等の幅広い内容の発表が行われていたが、本特集も、膨大で動的な Web をさまざまな側面から扱う記事を集めることができた。記事を執筆していただいた多くの先生方には、非常に忙しい時期に執筆や校正作業をお願いした。著者の先生方には改めて感謝したい。

Web は誕生してわずか 10 年あまりであるが、今や重要な社会基盤となってきた。Web を活用することに対する社会的なニーズ

も大きく、本特集で扱った内容はまだまだ発展途上にあるといえる。今後、新たな技術によって Web がどう変化していくか、またそれを利用する人間が Web に何を求めるようになるか、その変化に応じて本特集で扱った内容もさまざまな発展を遂げていくはずである。もし仮に数年後に同じタイトルで特集を組むとしたら、どのような構成になり、どのような記事が新たに付け加わっているだろうか。編集委員としてというよりも一研究者として今後とも考えていきたい。

(村田剛志/本特集エディタ)

次号 (8 月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」エンタテインメントコンピューティング

エンタテインメントコンピューティングとは何か? / コミュニケーションとエンタテインメント / ストーリー型エンタテインメント / エンタテインメント用ウェアラブル・ユビキタスコンピューティング / エンタテインメントロボット / 音楽における創造的表現の支援 / ゲームにおける知能の進化と多様性

解説

ダイヤの乱れを克服する - 鉄道運行管理システムの現状と今後 - 富井規雄

トピックス

情報規格調査会の活動報告 情報規格調査会

連載 とつきよ Now! / 日本の情報処理技術の足跡 / プログラム・プロムナード

コラム IT ルネサンスのために: ヒューマンインタフェースの復権を / アメリカ IT まわりの話題 / 情報技術と教育 / 20 世紀の名著名論 / 日本の IT 事情 / モバイルは今

会員募集中!!

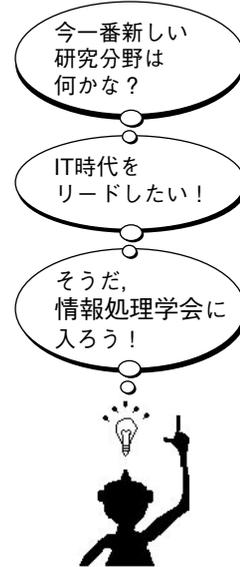
**ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、
あなたのお役に立ちます。**

詳しくはWebサイト <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

申込/照会先 **社団法人 情報処理学会**

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 E-mail:mem@ipsj.or.jp



複写される方に

☐ <学術著作権協会依頼>

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail:naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記の In the USA に記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo
107-0052, Japan
E-mail:naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp
Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA
Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744
<http://www.copyright.com>

掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、必要事項をご記入の上、E-mail:sei@ss-com.co.jp または Fax.03-3368-1519 へご請求ください。

「情報処理」 月号をみて

広告主名	製品名	希望項目 [※]	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望、B 担当者から連絡・訪問希望、C カタログ希望

フリガナ
お名前

勤務先

所属部署

所在地

(〒 _____)

TEL (_____)

-

FAX (_____)

-

ご専門の分野

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 30,000 部
 体裁 A4 判
 発行日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

お問合せ・お申込みは
 広告総代理店
（株）精機通信社 Tel.03-3367-0571
 〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-16-13
 Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	330,000	—	—
表 3	275,000	—	—
表 4	385,000	—	—
表 2 対向	300,000	—	—
表 3 対向	265,000	190,000	155,000
前付 1 頁	250,000	165,000	135,000
前付 1/2 頁	—	—	80,000
前付最終	—	—	148,000
目次前	—	—	148,000
差込 (A4 判 70.5kg 未満 1 枚)	275,000		
差込 (A4 判 70.5kg ～ 86.5kg 1 枚)	350,000		

* 上記料金はポジフィルム納入による料金です。
 * 版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。
 * 断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。
 * 上記料金には消費税は含まれておりません。